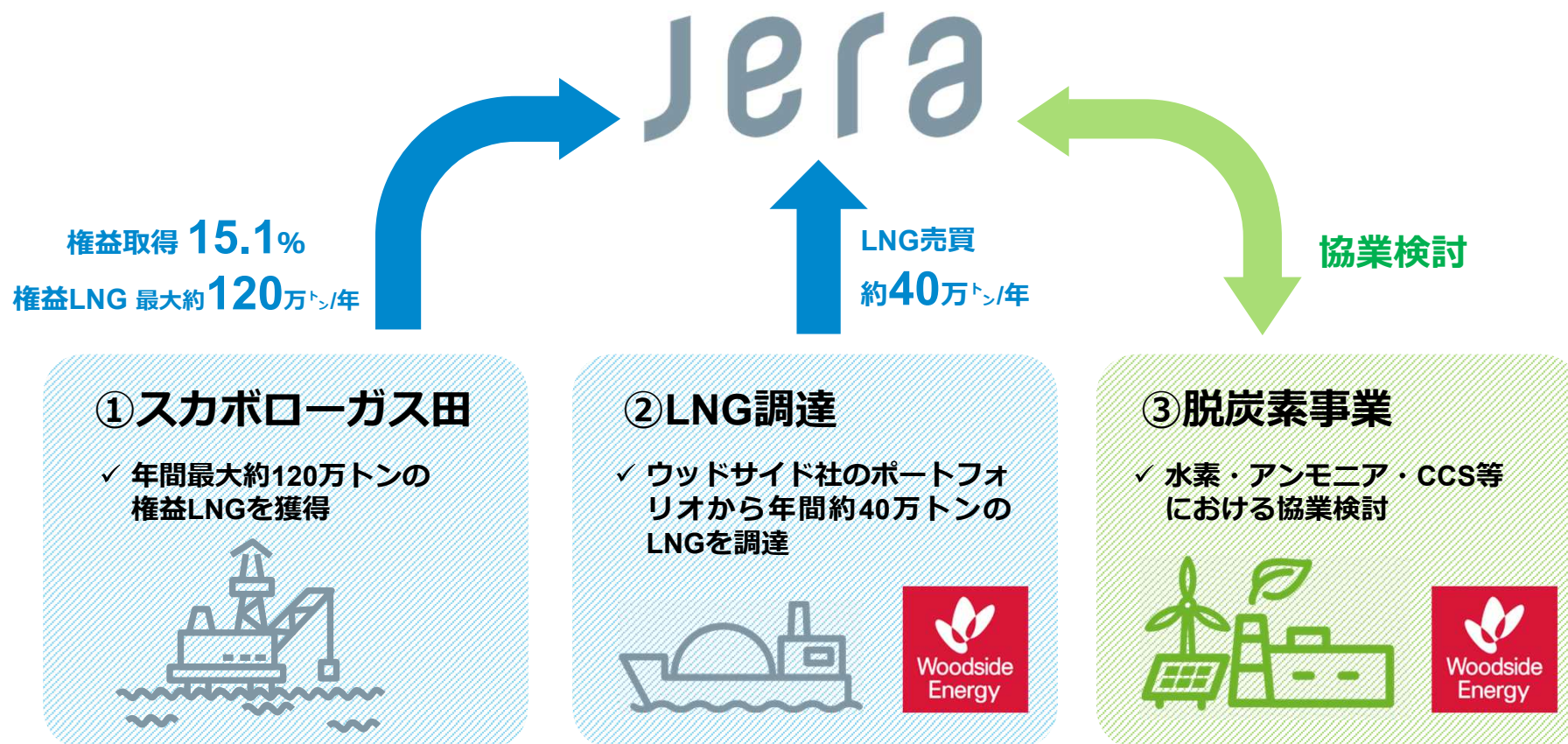


豪州ウッドサイド社と締結した契約等の概要

- スカボローガス田**権益15.1%**をJERAが取得 (①)
- ウッドサイド社が保有するLNGポートフォリオから**年間6カーゴ (約40万トン) のLNG**を購入 (②)
- ウッドサイド社と**脱炭素事業等の協業検討**を実施 (③)



スカボローガス田開発プロジェクトの概要

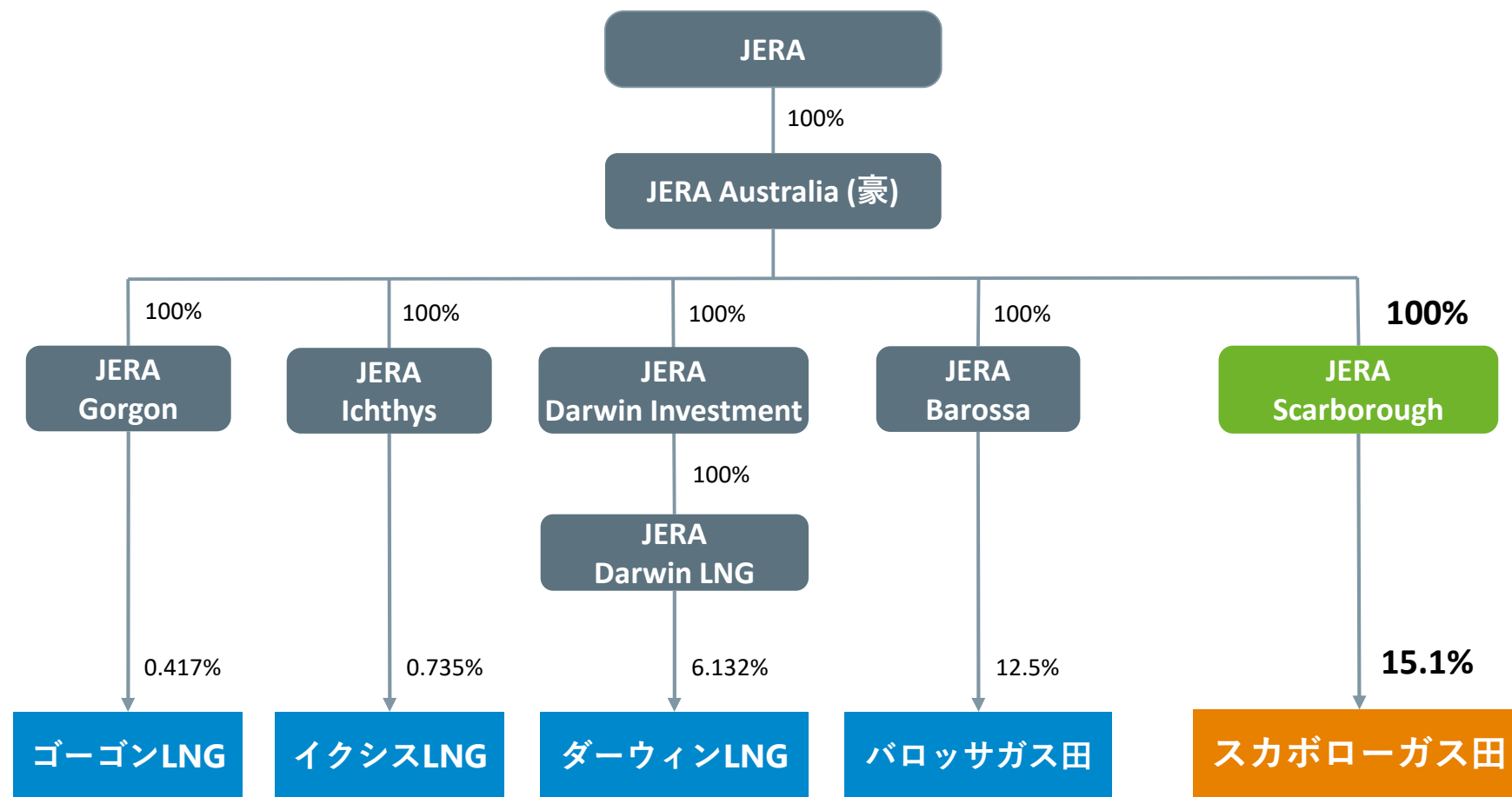
- スカボローガス田は ウッドサイド社がオペレーターとして開発中のLNGプロジェクト。
- スカボローガス田の権益を保有するウッドサイド社と**15.1%の権益売買契約を締結**。
- 当社100%子会社であるJERA Australia社の子会社となる新設SPC（JERA Scarborough社）を通じて同ガス田権益を取得する。
- CO2含有率が0.1%未満と非常に低く、環境負荷が低いLNGを生産可能。

プロジェクト概要（スカボローガス田開発）

立地	オーストラリア 西豪州北西部沖合約375km
パートナー	ウッドサイド社（オペレーター）100%*1 <small>*1エルエヌジージャパン株式会社が10%権益取得予定</small>
液化プラント	プルート液化基地（Train2を新設*2） <small>*2 ウッドサイド社が51%、GIP社が49%出資</small>
LNG生産量	最大年間約800万トン ※権益取得分（15.1%）相当の年間最大 約120万トンのLNGを引き取り
最終投資決定	2021年11月（最終投資決定済み）
LNG生産開始	2026年見込み



(参考) 投資ストラクチャー



- ※1 枯渇するバク・ウندانガス田へは東京ガスとのJVであるTokyo Timor Sea Resources社を通じて参画 (9.198%)
- ※2 ウィートストーンLNGプロジェクトへはJOGMEC、三菱商事、日本郵船とのJVであるPE Wheatstone社を通じて参画 (ガス田鉱区開発権益：10%、LNGプラント事業権益：8%)